

【人権課題：子ども】

立場の違いを受け入れる～脳内会議を通して～

玉野市立東見中学校 第2学年

1 教科等 特別の教科 道徳

2 主題名 立場の違いを受け入れる B-(9) [相互理解、寛容]

3 ねらい

自分と相手の考えや意見が相違した時にどうするかを考えることを通して、自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重する態度を育てる。

4 教材名

「脳内会議」(出典:明治図書『中学校 ワークシートでできる「道徳科」授業プラン』)

5 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

本時は、内容項目B(9)「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。」に関するものである。

学校生活を過ごす中で、配慮に欠ける発言や他者の思いに考えが及ばない行動は、中学生にはよく見られる。それぞれの個性や立場により、いろいろなものの見方や考え方があることに気付き、お互いを尊重することができれば、相手の考えを認め合う寛容さや謙虚に他に学ぶ態度・技能を習得し高めていくことができると考える。これらの力は、社会では必須な力であると考えられるため、指導に当たっては、お互いに理解し合い、他者の意見を認めて素直に受け入れる姿勢が大切であることに気付かせたい。

(2) 生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

本学級の生徒の多くが、幼稚園から単一学級で生活を送ってきており、本来お互いを認め合っているはずではあるが、いつも一緒に過ごしている中で、相手に心ない言動をとってしまう生徒もいる。自己中心的な考えが先立ってしまうことで、相手の思いや考えを理解することが難しく、仲間に助けってもらっても、お礼が言えなかったり、当たり前だと思ったりして相手の気持ちに気付かず理解できない面もある。また、道徳や学級活動では、ワークシートに自分の気持ちを素直に記述することはできるが、それを声に出して伝えることができない生徒もいるため、ワークシートを回し読みするなどして、班や学級で共有できるようにしている。

これまでに自他の尊重については、道徳でいじめや命について考えることができる教材で学習したり、臓器移植や自他の理解についての講演会で学んだりしてきている。また、保健体育科での「人との関わり」や「自分らしさ」についての学習を踏まえて、自己の人格形成や他者との関わりについても考えていきたい。11月には広島平和学習があり、他者に対して肯定的な考えをもち、友達だけでなく、誰に対しても敬愛の念をもった言動ができるようにしていきたい。そのような学習の中で対人関係を見直して、全員でより良い学級にしていくという態度を身に付けさせたいと考えている。

(3) 使用する教材の特徴や取り上げた意図及び具体的な活用方法

本資料は、エゴグラムの5要素を5人のキャラクターに見立て、この5人のキャラクターが自分の頭の中にいると想定させることで、多様な考え方をイメージしやすくなっている。また、部活動内の人間関係上のトラブルについて、主人公の視点から描かれており、身近な問題として考えることができるため、人間関係の大切さと難しさについて、生徒が自分の姿を主人公に投影して考えられる資料となっている。普段、他者と関わる中で浮かんでくる感情と、よりよい人間関係を築く上で必要な望ましい行動を考えることができる。

(4) 研究主題との関連

本研究主題は、「自他を認めともに生きる～多様性社会でたくましく生きる生徒の育成を目指して～」である。本校は、生徒数が少ないため、多様な考え方に触れる機会が少なく、社会性が育ちにくい面

が課題である。また、クラス替えがなく、人間関係が固定化されることにより、いじめや不登校、仲間に対する言葉遣いや態度に遠慮がないことなどの課題に影響を及ぼしている。

そこで、研究では、人権教育の視点を取り入れ、一人一人の人権が尊重され、それぞれの存在や良さが認められる学校・学級づくりを目指すため、生徒が達成感や自己有用感を感じることでできる授業作りや体育会・音楽発表会・人権集会等の学校行事を実践している。

6 本時(本実践)と人権教育

- 自分や他人の考えを認め合おうとする意欲や態度を育てる。(価値的・態度的側面)－①
- 自分の考えや意見を相手に伝える技能を高める。(技能的側面)－②

7 他の教育活動との関連等

9月「いのちについて考える～臓器移植医療を通して～」(総合的な学習の時間)

10月「自分と相手を大切にするために」(総合的な学習の時間)

11月「違いを認め合い、人権を尊重する在り方のヒント(アンコンシャス・バイアス)」

(特別活動)

12月「人権の輪(人権集会)」(特別活動)



「いのちについて考える～臓器移植医療を通して～」



「自分と相手を大切にするために」



「違いを認め合い、人権を尊重する在り方のヒント」



「人権の輪(人権集会)」

8 学習指導過程

人権教育の視点から特に重要なこと……★

学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
<p>1 本時で学習するテーマを捉える。</p> <p>・映画『インサイドヘッド』を例に、本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○今までに友達と意見や考えが合わなかった経験はありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊ぶとき ・何かを決めるとき ・順番 <p>○映画について、知っていることはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見たことがある。 ・5人のキャラクターがいる。 	<p>・事前アンケートの結果を提示し、現時点での自分達の状況をおさえた上で、本時のねらいにつなげる。</p> <p>★様々な視点から考える授業のため、他者の意見を否定しないことや真摯に傾聴することをおさえる。-②</p>
<p>身近な問題を複数の視点で捉えるとはどういうことだろう</p>		
<p>2 資料を読んで考える。</p> <p>(1)脳内会議のキャラクターを知る。</p> <p>(2)教材「問題発生」を読む。</p> <p>(3)「私」はどうするべきか、5人のキャラクター支持率を考える。</p> <p>(4)「私」の脳内会議の様子を考える。</p> <p>(5)グループで「私は」どうすればよいか話し合い、全体に発表する。</p>	<p>○今回、エゴグラムを参考に5パターンの特性を紹介していきます。</p> <p>A 厳格な性格 B 優しい性格 C 冷静な性格 D 自由な性格 E 従順な性格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は自由な性格が支配している。 ・映画とはちょっと違う。 <p>○脳内で問題に対してどのように行動すればよいか、相談してもらいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よくありそうなパターンだ。 ・似たようなことがあったな。 <p>○個人で「私」の頭の中を想像して、エネルギーメーターの割合を自分の考えで分けてみよう。</p> <p>○自分が塗ったメーターを見ながら、「私」は脳内会議でどのように対応しようと決めたいでしょうか。</p> <p>○「私」はどう対応しようと考えたでしょうか。グループで脳内会議をしてみましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こうしたほうがいいたろうというのと、実際の自分の考えにはずれがある。 <p>◎それぞれのグループでどのような脳内会議が行われたのか発表してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黙っておく。 ・ちゃんと話し合う。 ・仲間はずれはやめよう。 ・同調する。 	<p>・エゴグラムについての説明を加え、誰の頭にも住んでいる5人だという意識をもたせる。</p> <p>・同じような経験があっても、ここでは具体例は出さないようにする。</p> <p>・加害者の立場で考える場面もあるが、いじめを肯定するものではないことを押さえる。</p> <p>・他者と相談せず、読んで思った、素直な感情で塗るように伝える。</p> <p>・メーターを根拠に考えることで、正直な思いが表れるようにする。</p> <p>・エネルギー割合を発表し合った後で「私」の行動について話し合うことによって、Cの方法を選ぶだけでなく、様々な意見が出るようにする。</p> <p>・問い返しや考えを深める意見を拾い、全体で考えることができるようにする。</p> <p>★全体で共有し、物事は決して一つの意見ではなく、色々な意見を総合して決定されていることが理解できるようにする。-①</p>

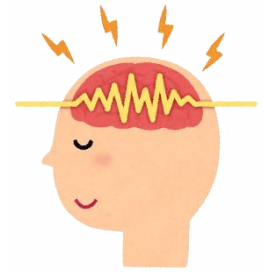
<p>(6)キャプテンやメールをしてきた友達の脳内会議の様子を想像する。</p> <p>3 まとめをする。</p> <p>(1)今日の授業で感じたことを振り返ってワークシートに記入する。</p> <p>(2)教師の説話を聞く。</p>	<p>○キャプテンの脳内会議はどのような様子だったか考えてみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がチームを引っ張らないといけない。 ・何でもみんなちゃんとしてくれないの。 <p>○では、メールをしてきた友達はどんな脳内会議だったと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャプテンが偉そうに言うのが悪い。 ・キャプテンについていけないことを気付かせるようにしよう。 <p>○発表はしないので、今日の授業をじっくり振り返り、自分の考えを書く時間にしましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の行動もきちんとこの5人に話し合わせて決定できるようにしたい。 	<p>★自分と異なる考えや意見の人と対立したときのことを思い出させ、そのときにどんな気持ちになったかを想像させ、自分事として考えさせるようにする。</p> <p>-①</p> <p>・他者との望ましい接し方について、様々な考えや感情を理解した言動ができるように日々の自分の生活を見直してみるよう伝える。</p>
---	--	---

<評価の視点>

- 脳内会議を通して、様々な視点で問題を捉えることの大切さに気付くことができたか。(ワークシート)
- 他者の意見を受け止めるとともに、自分の考えを発表することができたか。(ワークシート 観察)



立場の違いを受け入れる～脳内会議を通して～



1 問題発生

中学2年生の「私」はバドミントン部。先輩が引退して、新キャプテンが決まって1ヶ月が過ぎたある日、こんなメールが回ってきた。

「あのキャプテンムカつかない? 『まじめにやって!』とか『早くして!』とか命令ばかり。私たちはちゃんとやってるのにさ。今度、キャプテン抜きのみんな遊びに行かない?」

おおむね、他の友達もその意見に賛成なようだ。

さて、「私」はこのメールに対してどう対応すればよいのだろうか?

2 脳内会議

私の頭にはキャラクターが住んでいる。ここで5人の相談が始まった。

それぞれの意見を聞いてみよう。

A 厳格な性格(厳しさ)

「キャプテンが悪い。みんなではっきり言えばいいんだよ。『偉そうなことばかり言うな』って。また、友達にも『コンコン仲間はずれするな』って言ってやれ」

B 優しい性格(あたたかさ)

「キャプテンなりに一生懸命なんじゃないの? 分かってあげてほしいなあ。誰だって好きこのんで嫌われ役はしないと思うわよ。友達の方も傷ついたんだろうね」

C 冷静な性格(論理的・合理的)

「キャプテンとみんなの間に溝ができてしまったことは問題だな。ここでキャプテン抜きで遊びに行ったら何も問題は解決しないんじゃないか。みんなで話し合ったり、先生に相談したりすべきじゃないのか」

D 自由な性格(のびのび、やんちゃ)

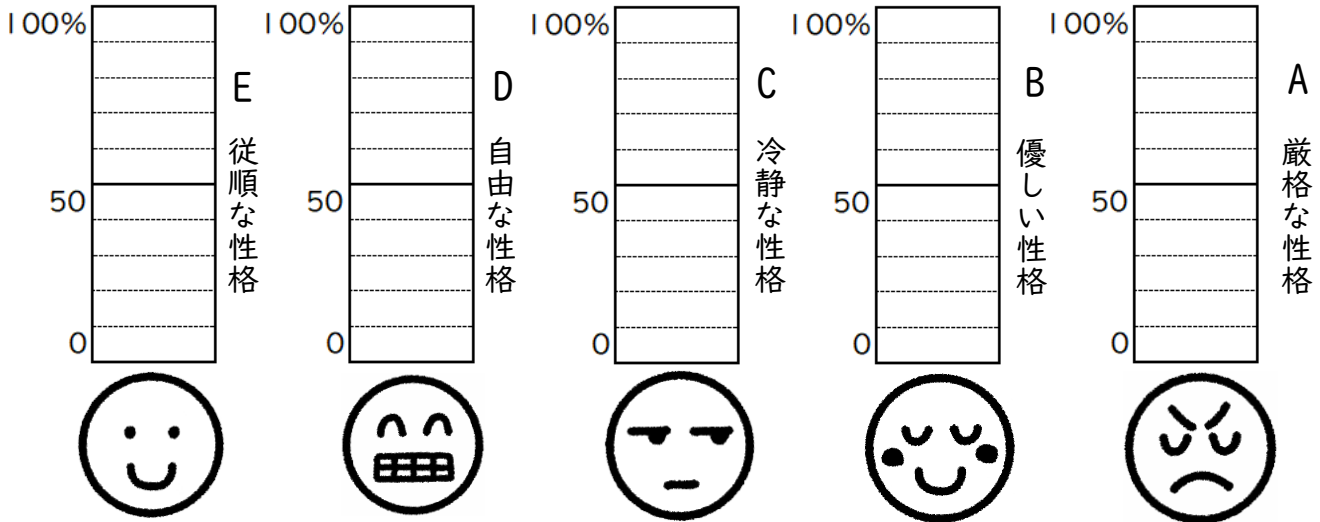
「キャプテン気に入らないよね。こういう人には一回ぎゃふんと言わせた方がいいよ。気分転換も兼ねてキャプテン抜きで遊びに行こうよ。」

E 従順な性格(相手に合わせる)

「ここでみんなに合わせておかないと、私のがけものにされちゃうかもね。人数が多い方に従っておけば安心だよ。」

立場の違いを受け入れる	氏名	年 組 番
	名	

「私」の頭の脳内会議を想像して、各キャラクターのメーターを塗ってみよう。



「私」はどうすべき

「キャプテン」や「メールをした友達」の脳内会議の様子は？

今日の授業を終えて感じたこと、考えたこと